

地区名 秋田市

所在地 秋田市滝ノ下

バス駐車 × 大地のつくり

トイレ × **水のはたらき**

露頭までの道のり

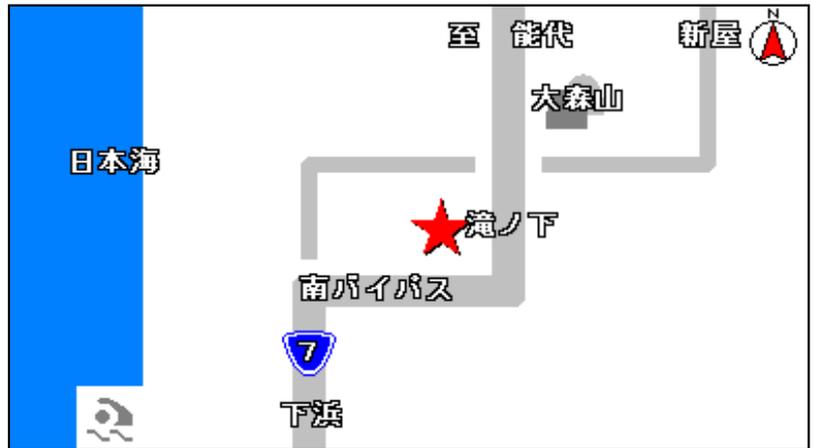
国道7号線南バイパス沿い、携帯電話の基地局があるところが観察場所となる。大森山のテレビ塔が間近に見える海側にある。入り口が狭いので、近くの駐車場から歩いていくとよい。

安全上の留意点

露頭は広く、地層の広がりを感じさせるには適した場所と言える。崖の上部にも尾根づたいに上れるが、崩れる可能性が高いので児童の動きから目を離さないようにすべきである。また、観察場所は雨上がりにでかけると、粘土質のため足場が悪いので長靴をはくのが望ましい。

観察のポイント

- ①大きな地層の広がりを感じる。
- ②地層が奥まで続いていること。
- ③川原で見るような円礫があること。
- ④角ばった火山岩が見あたらないこと。



地質年代

第四紀更新世後期(1~15万年前)

解説

潟西層と見られ、最終氷期に堆積した層である。砂・砂礫・泥などから構成されており「水のはたらき」でできた大地であると判断が可能である。

地層の上部に暗灰色の層が挟まっているが、粘土(泥岩)の層であり、中に化石が多数発見できる。化石は植物の枝や葉、クルミなどがあり、秋田県が陸化して汽水域となった時の堆積物の可能性がある。

露頭概観

指導形式

A,B,C



暗灰色の層が露頭の上部にはさまっている。取り出してみると、泥岩の層であることが分かる。化石が豊富に見つかる。



南バイパスを北から南方面へ進行すると右手に携帯電話の基地局が見える。その下が観察場所。入り口は小さく、分かりづらいので注意。



地層に近づいてみると、砂の他に小さな円礫が多数入っていることがわかる。